

仙台市泉南二地区民生委員児童委員協議会

(平成 26 年 1 月 10 日掲載)

(1) 南二地区概要

当地区は、仙台市の北部に位置し、仙台駅から地下鉄南北線で 15 分圏内にあります。丘陵地を宅地開発した住宅地の「黒松」、「虹の丘」と、農地などを区画整理した「八乙女」、「上谷刈」の住宅地で、町並みが形成されています。

地域の人口は約 3 万名、世帯数は約 1 万 4 千世帯で、担当する民生委員・児童委員は 31 名です。

(2) 被災状況と対応

東日本大震災による建物への被害は、地すべり、地割れなどにより全壊と判定されたもののほか、壁面などの亀裂や棟瓦の落下などの損壊も数多くありました。現在は、河川堤防の改修工事以外被災の姿は目立たないほどに復旧しています。

発災時、ライフラインが停止するなかで、自宅に戻らない要援護者の安否確認には多くの時間を要しました。本人探しに苦労したようです。

避難所では、一時に大勢の人が押し寄せ、施設周辺は路上駐車で混雑し、受け入れやその後の運営においても大変だったとのこと。その一方で、町内単位の小規模施設に開設された一時避難所は、住民同士の協力により良好な運営ができました。

被災 2 年目には、津波被害にあわれて民間賃貸住宅に転居した方々への支援の交流サロンを 2 回に分けて開催しました。地元町内会世話役や行政の関係者による生活相談などで有意義な行事となりました。

(3) 今後の取り組み

震災から間もなく 3 年が経ちますが、みなし仮設住宅に避難されている方々にもさまざまな面で配慮が必要となっています。みなし仮設住宅での生活が長期化してくると、精神的に追い詰められがちになってきます。今後は小地域ネットワークをさらに発展させ、「支えあいサロン」への参加を呼びかけるなど、孤立することのないよう行動していきたいと考えています。